

スタディ・メイト研修会

7月12日(金)、「スタディ・メイト研修会」を行いました。富山県総合教育センター 教育相談部 研究主事 片平 尚美先生、研究主事 惣万 美由紀先生を講師にお迎えしました。市内スタディ・メイトの先生方が参加しました。



指導講話

スタディ・メイトの役割や心構えの確認。



グループワーク

子供の気持ちや行動の背景（本人の抱える困難）から、支援を考える。



情報交換

(1) 指導講話

① 児童生徒の支援を考える視点



片平先生

まず、その子の**気持ち**を想像します。次に、その子がどんな困難を抱えているのか、**行動の背景**を考えます。そして、**支援**を検討します。先生の話聞き漏らしてしまうAさんの例で考えてみましょう。

様子	授業中、先生が「〇〇を出しましょう」という一斉指示を出した直後に「何出すの?」と聞き返す。また、他の子供を見て行動することも多い。		
気持ち Aさん	(ボクにじゃなくて) 〇〇さんに言っていると思った。	あっ、電車が見える。外が気になるなあ。	何を言われたか忘れちゃった。
行動の背景 (本人の抱える困難さ)	話している人に注意を向けられない。	刺激で注意がそれやすい。	聞いた内容を覚えていられない。複数の指示が分からない。
支援	<ul style="list-style-type: none"> 「今から先生が大事なことを話すよ」と事前に予告する。 「あっちだよ」と指差す。 	<ul style="list-style-type: none"> 刺激を減らすよう本人と窓の間に立つ。 座席の配慮を先生に提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生の話を書き留める。 Aさんの行動に合わせて一つずつ指示を伝えなおす。

② 大切にしてほしいこと



片平先生

学級のルール、担任との約束事は何か、どう支援するかなど、学級担任や授業をする**教員との連携**を大切にしていきたいです。

メモ等を活用して**うまくいった支援を共有**するなど、担任、特別支援教育コーディネーター、管理職等、関わる教員と**連携して支援**していくことが大切です。



惣万先生

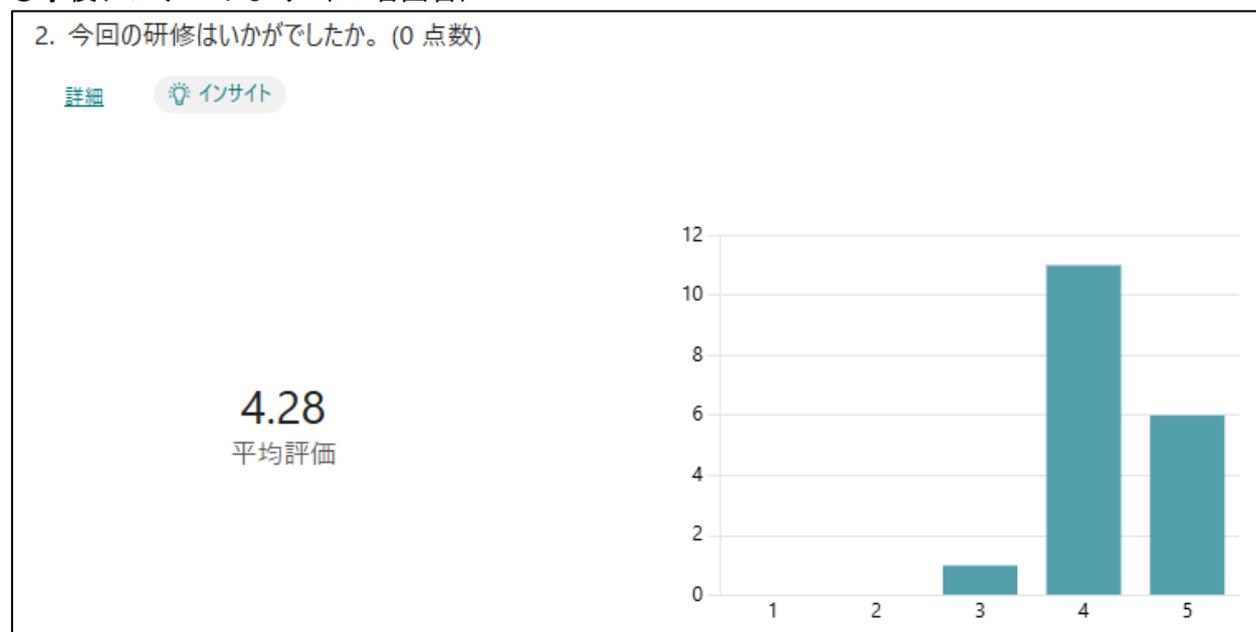
スタディ・メイトの先生が行った支援を担任の先生に伝えることで、担任の先生は子供が**安心する支援を整理**することができます。その子の目の前でメモを書く、その場で頑張りを認めることなどもポイントです。その子の**前向きさ**にもつながります。

Aさんが頑張っていたこと、〇〇先生にも伝えるね。
(**自尊心を高める声掛け**)

うん!



○事後アンケートより（18名回答）



受講者の感想

片平先生、惣万先生のご講話や事例検討は、今後の子供たちへの支援に役立つ内容でした。ありがとうございました。

年配のスタディ・メイトに充分配慮された行き届いた研修だったと感謝しております。

子供の行動の背景と支援を考えた事が有益だった。研修回数については、学校の実情に合わせて年一回が望ましいと思う。

今回は二回目で、経験が前回の時より増えた分、支援の仕方とか問題になる背景とかが分かるようになったように思います。まだまだいろいろな問題を抱えた子供たちのために少しでも手助けできるスタディ・メイトになればと思います。

あらためて、スタディ・メイトの役割、大切にすることを思いおこすことができました。よりよい支援ができるよう今日勉強したことを生かしていきたいです。ありがとうございました。

中学生になるとより、授業についていけないことやコミュニケーションがうまくとれないところでクラスに居場所をなくす生徒が多くいる、コミュニケーションがうまくとれない生徒が多くいると感じます。サポートを求めてくる生徒もいます。今回の研修の事例なども参考にしながら、スタディ・メイトのできる範囲で支援していこうと思います。

日頃スタディ・メイトとして子供さんに関わっている時に、「この支援の仕方で良かったのか？他により良い支援の仕方があったのではないか？」と、思うことがあります。グループワークでは同じ事例を他のスタディ・メイトさんの視点で見ると異なる見方とそれに伴う支援方法があるなど、新たな気付きがありました。見落としてしまうことあると思いました。研修は他のスタディ・メイトさんと意見交換ができる貴重時間になるので、グループワークは今後取り入れていただくと嬉しいです。意見交換をして、子供さんとの信頼関係があつての支援だと思いました。認め、励まし、褒め、ときにはそっと見守り子供さんが安心できる居場所を作っていきたいと思いました。

スタディ・メイトの役割や心構えを再確認する意味でも、研修は有効だと思います。ただ、同じような研修内容が続いているので、何か変化が欲しいなあと思っています。最近、発達障害当事者の方が、子供の時のことを振り返って、なぜそういう行動をしていたのか、どんなふう

に受けとめて欲しかったのかという手記のようなものを読んで、深く考えさせられました。困り感を抱えている子どもを深く理解することは、よりよい支援につながると思うので、そういう事例もいろいろ聞いてみたいと思いました。

4月からスタディ・メイトを始めた私にとっては大変よい研修でした。特に情報交換の時間はいろんな話が聞けてよかったです。

先生方の詳しい説明をしてもらえ、気づきをもらえました、現場で困ったらいことが、もっと深い洞察と観察から、もっと対応があるとおもわれました、ありがとうございます、他のスタディ・メイトとも、久しぶりにお会いできて、いろいろ話を交換して交流をはかれました。グループの発表がなくて、時間が有効に使われたことも良かったです。お世話になりました。

お忙しい中、講話していただきありがとうございました。今後も児童に寄り添った支援を心がけたいと改めて感じました。他校のスタディ・メイトさんと情報交換することで今後の自分自身のスタディ・メイトとしての在り方を考え直すことができたように感じます。そのため、もっと他校のスタディ・メイトさんとの情報交換の時間をとっていただきたいです。他校のスタディ・メイトさんと悩みを共有できる時間を多くすることでスタディ・メイトの支援の質向上になると考えます。

他校との情報交換は有意義でした。グループワークでは自分が考えつかない意見や実施体験もあり勉強になりました。ありがとうございました。

現在、スタディ・メイトとして児童への関わり方で、悩んでいたことが、講話やグループでの事例等で、少し解決しました。また、情報交換で同じ悩みを話すことができて、良かったです。ありがとうございました。